

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却について

設備造作、建物附属設備、什器備品およびソフトウェア…定額法による減価償却を実施している。

#### (2) 引当金の計上基準について

退職給付引当金…期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

#### (3) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込み方式を採用している。

### 2 特定資産の増減額およびその残高

特定資産の増減額およびその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	27,522,867	3,350,511	575,128	30,298,250
合 計	27,522,867	3,350,511	575,128	30,298,250

### 3 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
退職給付引当資産	30,298,250	0	0	(30,298,250)
合 計	30,298,250	0	0	(30,298,250)

### 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
設備造作	4,238,490	1,325,235	2,913,255
建物附属設備	1,478,814	462,378	1,016,436
什器備品	3,348,104	2,374,122	973,982
ソフトウェア	12,532,461	10,213,161	2,319,300
合 計	21,597,869	14,374,896	7,222,973